

# 漢字音讀名人

《3年》



3学期

名前	
----	--

東書配列

## 「漢字音読名人」の進め方

表のページは練習に使用します。裏のページは、友達との聞き合いに使用します。  
一漢字ずつ、読めるようにしていきましょう。

①まず、表のページで読む練習をします。

・何度も声に出して読み、――を引いた漢字のふりがなを見ないで読めるようになるまで練習します。  
・線の引いていない漢字は上の学年で習う漢字ですから、ふりがなを見ながら読んでもいいです。  
★意味の分からない言葉があったら、必ず先生に聞きましょう。

②線を引いた漢字が、ふりがなを見なくても読めるようになったら裏のページでチャレンジします。

・友達に聞いてもらい、正しく読めていたら、サインをしてもらい、次の漢字に進みます。  
・先生が決めたゴールの漢字まで進んだら、元にもどって、二回目にチャレンジ。  
・三回目もゴールまで進み、サインが三つそろったら、「音読名人」です。次のゴールをめざしてがんばりましょう。

## 悪

悪口わるくちを言いわれて  
気分きぶんは最悪さいあくだ



□ 弱い者よわものいじめは悪わるいことだ。



□ 何なんだか体からだの調子ちようしが悪わるい。



□ 悪人あくにんをやっつける正義せいぎの味方みかた。



## 県

滋賀県しがけんで  
有名ゆうめいなものといえは琵琶湖びわこだ



□ みかんがおいしい和歌山県わかやまけん。



□ 県道沿いにある道の駅みちのえきに  
人ひとが集あつまる。



□ 都道府県とどうふけんの数は全部ぜんぶで四十七よんじゅうなな。



## 岸

波なみが岸辺きしべに打ち寄うせて  
岸壁がんぺきを離はなれる船ふね



□ 向むこう岸ぎしまで泳およごう。



□ 海岸かいがんの岩場いわばで遊あそぶ。



□ 湖岸こがんで魚釣さかなつりをしている。



170

悪

悪口を言われて

気分は最悪だ



サイン

□弱い者いじめは悪いことだ。



□何だか体の調子が悪い。



□悪人をやっつける正義の味方。



171

県

滋賀県で

有名なものといえば琵琶湖だ



サイン

□みかんがおいしい和歌山県。



□県道沿いにある道の駅に

人が集まる。



□都道府県の数全部で四十七。



172

岸

波が岸辺に打ち寄せて

岸壁を離れる船



サイン

□向こう岸まで泳ごう。



□海岸の岩場で遊ぶ。



□湖岸で魚釣りをしている。



放

飼い犬を放し飼いに  
して放置しないこと



野鳥を野に放つ。



お昼の放送を聞く。



魚を川に放流する。



幸

幸運が  
続いて幸せ  
うれしいな



家族みんなが元気なことが  
一番の幸せだ。



転んだが、幸いけがは無かった。



海の幸、山の幸の  
ごちそうを食べる。



悲

悲しい悲劇の物語  
ロミオとジュリエット



愛犬の死を悲しむ。



毛虫を見て悲鳴を上げた。



悲願の初優勝。



放

飼い犬を放し飼い  
にして放置しないこと



野鳥を野に放つ。



お昼の放送を聞く。



魚を川に放流する。



幸

幸運が  
続いて幸せ  
うれしいな



家族みんなが元気なことが  
一番の幸せだ。



転んだが、幸いけがはなかった。



海の幸、山の幸の  
ごちそうを食べる。



悲

悲しい悲劇の物語  
ロミオとジュリエット



愛犬の死を悲しむ。



毛虫を見て悲鳴を上げた。



悲願の初優勝。





商

いろいろな  
色々な商品  
あきな  
しょうてんがい  
商う商店街



□ 売(う)り買(か)いを「商(あきな)」という。

□ うちの商売(しょうばい)は魚屋(さかなや)だ。



□ 近江商人(おうみしょうにん)は「三方良(さんぼうよ)し」の

商(あきな)いをした。



昭

昭和(しょうわ)・平成(へいせい)  
その次(つぎ) 令和(れいわ)



□ おじいさんは昭和(しょうわ)生まれだ。



□ 昭和時代(しょうわじだい)は戦争(せんそう)もあった。



□ 昭(しょう)は「あきらか」という意味(いみ)だ。



帳

メモ帳(ちよう)・手帳(てちよう)・日記帳(にっきちよう)  
ノートの形(かたち)をしたものが「帳(ちよう)」



□ 連絡帳(れんらくちよう)に明日(あす)の予定(よてい)を書く(か)。



□ 銀行(ぎんこう)で預金通帳(よきんつうちよう)を作る(つく)。



□ 日記帳(にっきちよう)に

今日(きょう)のできごとを書く(か)。



176

商

色  
々  
な  
商  
品商  
う  
商  
店  
街

□ 売|り|買|いを「商|い」という。



□ うちの商|売は魚|屋|だ。



□ 近江商|人|は「三|方|良|し」の

商|い|をした。



177

昭

昭  
和  
・  
平  
成そ  
の  
次  
令  
和

□ おじいさんは昭|和|生まれだ。



□ 昭|和|時|代|は戦|争|もあつた。



□ 昭|は「あきら|か」という意味|だ。



178

帳

メ  
モ  
帳  
・  
手  
帳  
・  
日  
記  
帳ノ  
ー  
ト  
の  
形  
を  
し  
た  
も  
の  
が「帳|」

□ 連|絡|帳|に明|日|の予|定|を書|く。



□ 銀|行|で預|金|通|帳|を作|る。



□ 日|記|帳|に

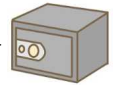
今|日|の|で|き|ご|と|を|書|く。





## 庫

金庫・車庫・倉庫



「庫」は物を入れる建物や場所

□ 学級文庫の本を読む。



□ 車を車庫に入れる。



□ 冷蔵庫から氷を取り出す。



## 転

雪道で滑って転んだ

これを転倒という



□ 高い台から転げ落ちた。



□ 三回転ジャンプの後、

見事に着地。



□ 自転車でサイクリング。



## 第

何をするにも

安全第一



安全第一

□ 通算第五十六号ホームランの新記録。



□ 第六感にピンと来た。



□ 外が次第に暗くなる。

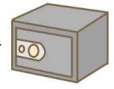


179

庫

金庫・車庫・倉庫

「庫」は物を入れる建物や場所



□学級文庫の本を読む。



□車を車庫に入れる。



□冷蔵庫から氷を取り出す。



180

転

雪道で滑って転んだ

これを転倒という



□高い台から転げ落ちた。



□三回転ジャンプの後、

見事に着地。



□自転車でサイクリング。



181

第

何をするにも

安全第一



安全第一

□通算第五十六号ホームランの

新記録。



□第六感にピンと来た。



□外が次第に暗くなる。



福

福は内 鬼は外  
笑う門には福来たる



□ 福の神が幸福を運んでくる。



□ 兄の卒業を家族で祝福する。



□ 福引きで一等賞が当たる。

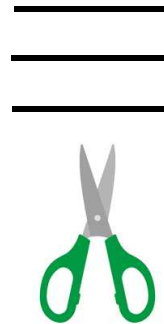


等

等しい大きさに分ける  
ことを「等分する」という



□ ひもを等しい長さに切る。



□ 最後まで全力で走り一等賞。



□ ケーキを平等に分ける。



定

ねらい定め  
安定した動作で弓を射る



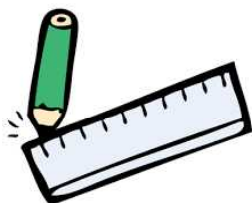
□ 夕方になって風が定まった。



□ 昼食に天ぷら定食を食べた。



□ 定規で線を引く。



182

福

福は内 鬼は外

笑う門には福来たる



サイン

□ 福の神が幸福を運んでくる。



□ 兄の卒業を家族で祝福する。



□ 福引きで一等賞が当たる。



183

等

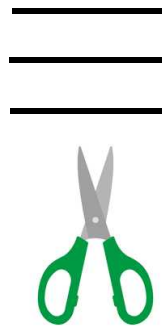
等しい大きさに分ける

ことを「等分する」という



サイン

□ ひもを等しい長さに切る。



□ 最後まで全力で走り一等賞。



□ ケーキを平等に分ける。



184

定

ねらい定め

安定した動作で弓を射る



サイン

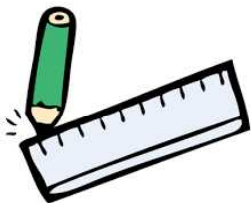
□ 夕方になって風が定まった。



□ 昼食に天ぷら定食を食べた。



□ 定規で線を引く。





185

、山宮宮

宮

七五三  
しちごさん宮参りで行く平安神宮  
みやまい へいあんじんぐう

竜宮城で乙姫様に出会った  
りゅうぐうじょう おとひめさま であ

浦島太郎  
うらしまたろう

昔、ここには宮殿があった。  
むかし きやうてん



宮城県は東北地方にある。  
みやぎけん とうほくちほう



186

、山宿宿

宿

宿屋には  
やどや

宿泊客がいっぱいだ  
しゅくはくが いっぱい



海に見える  
うみ

宿に泊まる。  
やど



草の葉につゆが宿る。  
くさ は



宿命のライバル。  
しゅくめい



187

、戸自追追

追

犯人の後を追う  
はん にん あと

追跡する  
ついせき



ネコがネズミを追いかける。  
ねこ ねずみ



商品の注文を追加する。  
しょうひん ちゆうもん



真実を追究する研究者。  
しんじつ ついきゆう けんきゆうしや





185

宮

七五三

宮参りで行く平安神宮



サイン

竜宮城で乙姫様に出会った

浦島太郎

昔、ここには宮殿があった。



宮城県は東北地方にある。



186

宿

宿屋には

宿泊客がいっぱいだ



サイン

海に見える

宿に泊まる。



草の葉につゆが宿る。



宿命のライバル。



187

追

犯人の後を追

追跡する



サイン

ネコがネズミを追いかける。



商品の注文を追加する。



真実を追究する研究者。



## 庭

昼休み  
ひるやす

校庭や中庭で遊んでいます  
こうてい なかにわ あそ



家の庭に花を植えた。  
いえ にわ はな う



夏の夜、庭先で花火をする。  
なつ よる にわさき はなび



家庭学習も大切だ。  
かてい がくしゅう たいせつ



## 旅

旅に出て  
たび だて

大きな旅館に泊まったよ  
おお りよかん と



長い旅を終えて帰る。  
なが たび お かえ



旅客機で外国に旅立つ。  
りよかくき がいこく たびだ



家族旅行は楽しいな。  
かぞくりょこう たの



## 息

満員電車  
まんいんでんしゃ

息苦しくて窒息しそうだ  
いきぐる ちっそく



ため息の出るほどの美しさ。  
ためいき みるほど うつく



息をつくひまもない忙しさ。  
いき つく ひまもない いそが



食後は少し休息しよう。  
しょくご すこ きゅうそく



188

庭

昼休み

校庭や中庭で遊んでいます



□家の庭に花を植えた。



□夏の夜、庭先で花火をする。



□家庭学習も大切だ。



189

旅

旅に出て

大きな旅館に泊まったよ



□長い旅を終えて帰る。



□旅客機で外国に旅立つ。



□家族旅行は楽しいな。



190

息

満員電車

息苦しくて窒息しそうだ



□ため息の出るほどの美しさ。



□息をつくひまもない忙しさ。



□食後は少し休息しよう。



## 階

階段を上って

二階の教室へ



□ ビルの最上階の

レストランで食事。



□ 笛でドレミの音階を鳴らす。



□ 大中小の三段階に分ける。



## 重

重い岩

三つ重ねて

重量一トン

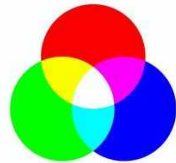


□ 病気が重くなる。

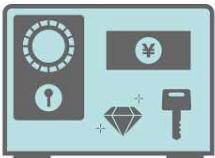


□ 赤青緑、三色の光を

重ねると白色になる。



□ 貴重品を金庫に入れる。



## 畑

畑掘り 野菜を

植えるおじいさん



□ 大豆は畑の肉ともいわれる。



□ 山の斜面の段々畑。



□ 美しい花畑が広がっている。





191

サイン

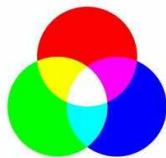
階

階段<sup>だん</sup>を上<sup>のぼ</sup>って二階<sup>にかい</sup>の教室<sup>けうしつ</sup>へ□ビル<sup>ビル</sup>の最上<sup>さいじやう</sup>階<sup>かい</sup>のレストランで食<sup>く</sup>事<sup>じ</sup>。□笛<sup>ふえ</sup>でドレミの音階<sup>おんかい</sup>を鳴<sup>な</sup>らす。□大<sup>だい</sup>中<sup>ちゆう</sup>小<sup>しょう</sup>の三<sup>さん</sup>段<sup>だん</sup>階<sup>かい</sup>に分<sup>わ</sup>ける。

192

サイン

重

重<sup>おも</sup>い岩<sup>いわ</sup>三<sup>さん</sup>つ重<sup>おも</sup>ねて重<sup>おも</sup>量<sup>りやう</sup>一<sup>いつ</sup>ト<sup>とん</sup>ン□病<sup>びやう</sup>気<sup>き</sup>が重<sup>おも</sup>くなる。□赤<sup>せき</sup>青<sup>せい</sup>緑<sup>りく</sup>、三<sup>さん</sup>色<sup>しき</sup>の光<sup>ひかり</sup>を重<sup>おも</sup>ねると白<sup>はく</sup>色<sup>しき</sup>になる。□貴<sup>き</sup>重<sup>じゆう</sup>品<sup>ひん</sup>を金庫<sup>きんこ</sup>に入<sup>い</sup>れる。

193

サイン

畑

畑<sup>はたけ</sup>掘<sup>ほ</sup>り野<sup>の</sup>菜<sup>さい</sup>を植<sup>う</sup>えるおじいさん□大<sup>だい</sup>豆<sup>まめ</sup>は畑<sup>はたけ</sup>の肉<sup>にく</sup>ともいわれる。□山<sup>やま</sup>の斜<sup>しや</sup>面<sup>めん</sup>の段<sup>だん</sup>々<sup>だん</sup>畑<sup>はたけ</sup>。□美<sup>み</sup>しい花<sup>はな</sup>畑<sup>はたけ</sup>が広<sup>ひろ</sup>がっている。



## 去

過ぎ去った

過去のことを思い出



□ビデオの録画を

消去する。



□その場から立ち去る。



□遠い過去のできごと。



## 礼

もらったら

礼状出すのが礼儀だよ

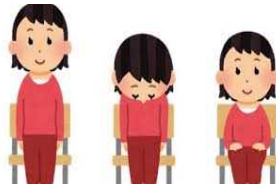


□お礼の言葉

「ありがとう」



□起立、礼、着席。



□お葬式では黒い礼を着る。



## 待

パーティーの招待状

その日が待ち遠しい



□お客様を待ち受ける。



□駅で友達と待ち合わせる。



□地元の期待に応えた水泳選手。



194

サイン

去

過ぎ去<sup>す</sup>った去年のことを思<sup>おも</sup>い出<sup>だ</sup>す□ビデオの録<sup>ろく</sup>画<sup>が</sup>を消<sup>け</sup>去<sup>そ</sup>する。□その場<sup>ば</sup>から立<sup>た</sup>ち去<sup>そ</sup>る。□遠<sup>と</sup>い過<sup>か</sup>去<sup>そ</sup>の<sup>で</sup>きごと。

195

サイン

礼

もらったら

礼<sup>じ</sup>状<sup>じょう</sup>出<sup>だ</sup>すの<sup>が</sup>礼<sup>れ</sup>儀<sup>ぎ</sup>だよ□お礼<sup>れい</sup>の言<sup>ご</sup>葉<sup>は</sup>「あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>が<sup>が</sup>と<sup>と</sup>う」□起<sup>き</sup>立<sup>り</sup>、礼<sup>れい</sup>、着<sup>き</sup>席<sup>せき</sup>。□お葬<sup>そう</sup>式<sup>しき</sup>では黒<sup>くろ</sup>い礼<sup>れい</sup>服<sup>ふく</sup>を<sup>き</sup>る。

196

サイン

待

パ<sup>しやう</sup>ー<sup>じやう</sup>ティ<sup>じやう</sup>の招<sup>しょう</sup>待<sup>たい</sup>状<sup>じょう</sup>その日<sup>ひ</sup>が待<sup>まち</sup>ち遠<sup>とほ</sup>しい□お客<sup>きやく</sup>様<sup>さま</sup>を<sup>まち</sup>受<sup>う</sup>け<sup>る</sup>。□駅<sup>えき</sup>で友<sup>とも</sup>達<sup>たち</sup>と待<sup>まち</sup>合<sup>あ</sup>わ<sup>せ</sup>る。□地<sup>ち</sup>元<sup>げん</sup>の期<sup>き</sup>待<sup>たい</sup>に<sup>こた</sup>え<sup>た</sup>  
水<sup>みづ</sup>泳<sup>えい</sup>選<sup>せん</sup>手<sup>て</sup>。

秒

百メートル走で

十秒を切り

日本新記録



□ 一分は六十秒です。



□ 光は秒速三十万キロメートル。



□ 時計の長針、短針、秒針。



病

病は気から

元気に過ごして病気が知らずだ



□ くよくよと気に病む。



□ 無理をして病気になる。



□ 重病で病院に入院した。



笛

笛、太鼓

鳴らして進む鼓笛隊



□ 野原で口笛を吹く。



□ 笛が鳴ったら集まりました。



□ 港から船の汽笛が聞こえる。



秒

百メートル走で

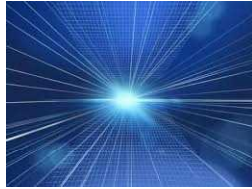
十秒を切り

日本新記録ろく

□ 一分は六十秒です。



□ 光は秒速三十万キロメートル。



□ 時計の長針、短針、秒針。



病

病は気から

元気に過ごして病気知らずだす

□ くよくよと氣に病む。



□ 無理をして病気になる。



□ 重病で病院に入院した。



笛

笛、太鼓こ鳴らして進む鼓笛隊こ たい

□ 野原で口笛を吹く。



□ 笛が鳴ったら集まりましょう。



□ 港から船の汽笛が聞こえる。



## 波

波<sup>なみ</sup>が来<sup>き</sup>て波止場の船<sup>ふね</sup>が揺<sup>ゆ</sup>れている□ 水面<sup>すいめん</sup>にさざ波<sup>なみ</sup>が立<sup>た</sup>つ。□ 電波<sup>でんぱ</sup>の届<sup>とど</sup>かない山奥<sup>やまおく</sup>。□ 病院<sup>びょういん</sup>で脳波<sup>のうは</sup>の検査<sup>けんさ</sup>を受<sup>う</sup>ける。



# 波

サイン

波が来て

波止場の船が揺れている



□ 水面にさざ波が立つ。



□ 電波の届かない山奥。



□ 病院で脳波の検査を受ける。



3学期の漢字

たしかめ

35

174	173	172	171	170
幸	放	岸	県	悪
幸運 <small>つづ</small> が続いて幸 <small>さい</small> せだ。	お昼 <small>ひる</small> の放送 <small>ほうそう</small> を聞 <small>き</small> く。	向 <small>むか</small> こう岸 <small>き</small> まで泳 <small>およ</small> ごう。	都道府県 <small>とふふけん</small> の数 <small>かず</small> は全部 <small>ぜんぶ</small> で四十七。	悪口 <small>あくぐち</small> を言 <small>い</small> われて気分 <small>きぶん</small> は最悪 <small>さいあく</small> だ。

たしかめ

36

179	178	177	176	175
庫	帳	昭	商	悲
学級文庫 <small>がくきゅうぶんこ</small> の本 <small>ほん</small> を読 <small>よ</small> む。	連絡帳 <small>れんらくちやう</small> に明日 <small>あした</small> の予定 <small>よてい</small> を書 <small>か</small> く。	おじいさんは昭和 <small>しょうわ</small> 生まれだ。	色々 <small>いろ／＼</small> な商品 <small>しょうひん</small> を商 <small>あ</small> う商店街 <small>しょうてんがい</small> 。	悲 <small>かな</small> しい悲劇 <small>げき</small> の物語 <small>ものがたり</small> 。

たしかめ

37

184	183	182	181	180
定	等	福	第	転
ねらいを定 <small>さだ</small> め、安定 <small>あんてい</small> した動作 <small>どうさく</small> で弓 <small>ゆみ</small> を射 <small>い</small> る。	ひもを等 <small>ひとし</small> しい長さ <small>ながさ</small> に切 <small>き</small> る。	福 <small>ふく</small> の神 <small>かみ</small> が幸福 <small>きふ</small> を運 <small>はこ</small> んでくる。	何 <small>なに</small> をするにも安全 <small>あんぜん</small> 第一 <small>だいいち</small> だ。	三回 <small>さんかい</small> 転 <small>てん</small> ジャンプ <small>ジャンプ</small> の後 <small>のち</small> 、見事 <small>みごと</small> に着地 <small>ちゃくち</small> 。

たしかめ

38

189	188	187	186	185
旅	庭	追	宿	宮
旅 <small>りょ</small> に出 <small>で</small> て、大 <small>おお</small> きな旅館 <small>りょかん</small> に泊 <small>と</small> まった。	昼休 <small>ひるやすみ</small> みは校庭 <small>がうてい</small> や中庭 <small>ちゅうてい</small> で遊 <small>あそ</small> んでいる。	犯人 <small>はんにん</small> の後 <small>のち</small> を追 <small>お</small> い、追跡 <small>せき</small> する。	宿屋 <small>しゆくや</small> には、宿泊客 <small>しゆくぱく</small> がいつぱいだ。	宮城 <small>みやぎ</small> 県 <small>けん</small> は東北 <small>とうほく</small> 地方 <small>ちほう</small> にある。

## たしかめ

35

174	173	172	171	170
こ う う ん が 続 い て し あ わ せ だ 。	お ひ る の ほ う そ う を き く 。	む こ う ぎ し ま で お よ ご う 。	と ど う 府 け ん の か ず は ぜ ん ぶ で よ ん じ ゆう な な 。	わ る く ち を い わ れ て き ぶ ん は 最 あ く だ 。

## たしかめ

36

179	178	177	176	175
が つ き ゆう ぶ ん こ の ほ ん を よ む 。	連 絡 ち よう に あ す の よ 定 を か く 。	お じ い さ ん は し you わ う ま れ だ 。	い ろ い ろ な し you ひ ん を あ き な う し you て ん 街 。	か な しい ひ 劇 の も の が た り 。

## たしかめ

37

184	183	182	181	180
ね ら い を さ だ め 、 あ ん て い し た ど う さ で ゆ み を 射 る 。	ひ も を ひ と し い な が さ に き る 。	ふ く の か み が こ う ふ く を は こ ん で く る 。	な に を す る に も あ ん ぜ ん だ い い ち だ 。	さ ん か い て ん ジ ャ ン プ の あ と 、 み ご と に ち ゃ く ち 。

## たしかめ

38

189	188	187	186	185
た び に で て 、 お お き な り よ か ん に 泊 ま っ た 。	あ そ ん で い る 。	犯 に ん の あ と を お い 、 つ い 跡 す る 。	や ど や に は 、 し ゆ く 泊 き ゃ く が い っ ぱ い だ 。	み や 城 け ん は と う ほ く ち ほう に あ る 。

200	199	198	197	196	195
波	笛	病	秒	待	礼
水面にさぎ波が立つ。	笛が鳴ったら集まりました。	病は気から。元気で病気知らずだ。	一分は六十秒です。	駅で友達と待ち合わせる。	お礼の言葉、「ありがとう」。

たしかめ  
40

194	193	192	191	190
去	畑	重	階	息
過ぎ去った去年のことを思い出す。	美しい花畑が広がっている。	重い岩、三つ重ねて重量一トン。	階段を上って二階の教室へ行く。	ため息の出るほどの美しさ。

たしかめ  
39

194	193	192	191	190
過ぎ <sup>す</sup> さった	うつくしい	おもいいわ、みつ	かい <sup>だん</sup> 段を	ためいきの
きよねん <sup>す</sup> のことを	はなばたけ	みつつ	のぼって	でる
おもいだす。	ひろがっている。	かさねて	にかいの	ほどの
		じゅう <sup>りょう</sup> 量	きようしつへ	うつくしさ。
		いっトン。	いく。	

200	199	198	197	196	195
すいめん	ふえが	やまいは	いっぶん	えきで	おれの
に	なったら	はき	は	とも <sup>だち</sup> 達と	ことば、
さざな	あつまり	から。	ろくじゅう	まちあ	「ありが
みが	ましょう。	げんき	うび	あわせる。	とう」。
たつ。		で	びよう		
		びよう	です。		
		きし			
		らず			
		だ。			



# 3年生で習う漢字

1	葉	31	配	61	皿	91	負	121	温	151	洋	181	第
2	起	32	住	62	委	92	勝	122	度	152	湖	182	福
3	速	33	身	63	員	93	区	123	美	153	酒	183	等
4	面	34	育	64	発	94	丁	124	短	154	油	184	定
5	向	35	守	65	島	95	屋	125	整	155	拾	185	宮
6	緑	36	決	66	寒	96	根	126	指	156	羊	186	宿
7	感	37	動	67	相	97	投	127	植	157	駅	187	追
8	豆	38	持	68	死	98	球	128	研	158	港	188	庭
9	物	39	問	69	君	99	打	129	究	159	界	189	旅
10	様	40	題	70	安	100	童	130	者	160	期	190	息
11	仕	41	部	71	急	101	主	131	深	161	勉	191	階
12	練	42	筆	72	橋	102	化	132	代	162	級	192	重
13	習	43	都	73	登	103	鉄	133	乗	163	式	193	畑
14	州	44	氷	74	血	104	真	134	飲	164	列	194	去
15	央	45	泳	75	申	105	客	135	流	165	予	195	礼
16	横	46	有	76	由	106	着	136	炭	166	談	196	待
17	倍	47	返	77	想	107	送	137	平	167	反	197	秒
18	館	48	遊	78	詩	108	院	138	和	168	注	198	病
19	事	49	開	79	集	109	皮	139	銀	169	暗	199	笛
20	号	50	全	80	次	110	受	140	鼻	170	悪	200	波
21	使	51	始	81	暑	111	消	141	神	171	県		
22	意	52	係	82	業	112	荷	142	祭	172	岸		
23	味	53	世	83	実	113	運	143	歯	173	放		
24	漢	54	終	84	農	114	陽	144	医	174	幸		
25	表	55	苦	85	命	115	路	145	坂	175	悲		
26	調	56	族	86	写	116	昔	146	薬	176	商		
27	柱	57	章	87	助	117	服	147	箱	177	昭		
28	所	58	曲	88	落	118	両	148	湯	178	帳		
29	取	59	板	89	進	119	軽	149	他	179	庫		
30	局	60	品	90	役	120	具	150	対	180	転		